

公共の担い手

あなたの寄付が地域を支える 未来をつくる

地域資源循環型社会をつくる市民コミュニティ財団

「ちばのWA^わ地域づくり基金」

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金 専務理事・事務局長 **志村はるみ**



■設立の経緯

2013年12月に発表された厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（2013年3月推計）」によると、50年後の日本の人口は、現在の1億2,700万人から8,700万人まで減少、少子高齢化が加速すると予測されています。千葉県では現在65歳以上の高齢者が24.3%ですが、2040年には36.5%となり、現役世代1.4人が高齢者一人を支えることとなります。社会構造の変化による大きな影響として考えられることは、地域コミュニティの崩壊、地域経済の衰退、行政の役割の変化などが挙げられます。当然、労働力人口の減少により税収は減り、あらゆる公共サービスをすべて行政が担うことは一層難しくなっています。こうした状況のもと、様々な問題を克服していくためには新たな対応をしていかなければなりませんし、生活の基盤となる地域社会を、安心して暮らせる場にしていけることが求められています。そこで必要となるのが、地域社会の課題にいち早く気づき、その解決に取り組む市民・NPOの力であり、それを支える「人・もの・資金」など支援の充実です。

県内には2014年3月現在で2,000以上のNPO法人があり（任意団体も含めるとその10倍ともいわれる）、地域のニーズに沿った主体的な事業や公益的なサービスを提供しています。多世代交流・地域コミュニティの再生、地産地消による循環型地域社会の実現、障がい者やニート、ひきこもりの就労支援、女性や高齢者の社会参加の場などさまざまな問題解決に一步一步つながっていま

す。しかしその多くが、社会からの理解不足や、NPO側の人材・資金不足、行政および関係機関の支援の不足などの要因により、積極的かつ持続可能な活動を展開していくことが困難な状況にあるのが現状です。

そこで私たちは、市民による地域づくりを市民が支えるために、市民や企業からの意思ある寄付や資源を、行政や企業だけでは解決しきれない地域のニーズに沿った事業・活動に取り組む公益性・信頼性の高い地域づくり団体に助成することで、その活動を支援し、成果を地域社会に還元することを目的に、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金を設立^{*}しました。

^{*}2012年5月、個人171名25法人からの寄付（300万円）により千葉県初の市民立のコミュニティ財団を設立。2013年4月千葉県による公益認定を受ける。

■ちばのWA地域づくり基金の事業概要

ちばのWA地域づくり基金では、寄付者の意志・思いを反映できるオリジナルプログラムを生み出し、公益性・信頼性の高い事業を支援するために助成・仲介を行います。

2012年の設立から寄付総額は1,200万円、16事業に助成をしてきました。

I. 「事業指定プログラム」（応援したい事業を選んで寄付できる）

事業指定助成プログラムは、予め地域課題解決のために必要と認められる事業を採択し、財団と団体が一緒に寄付を集める資金調達サポートプログラムです。当財団は様々な広報媒体を

使っての情報発信支援や、寄付獲得プランづくり、チャリティプログラムの企画・実施等を行い、寄付募集だけではなくNPOの組織基盤強化や信頼性の構築につながるプログラムです。

2014年4月より第2期5事業、10月より第3期4事業の寄付募集をそれぞれ1年間かけて行っています。

Ⅱ. 「テーマ・地域型基金」(応援したいテーマや地域を選んで寄付できる)

解決したい地域課題や支援したい活動内容等、テーマや地域ごとのプログラムを設置し、寄付募集をします。団体や企業によるプログラムの提案も可能です。

現在は、テーマ型基金「困難を抱える子どもの今と未来を支える基金」を設置、未来を担う子どもの悩みや不安を解消し、ひとりでも多くの子どもたちが健やかに育つ地域社会を目指し、広く寄付を集め、課題解決に取り組む活動に助成をします。



寄付つき商品として、オリジナルロゴ入りのチャリティTシャツを販売しています。

Ⅲ. 「冠ファンド」(50万円以上の寄付でオリジナルのプログラムをつくることできる)

会社の周年記念として地元貢献したい、社員からの募金を地域に役立てたい、遺産や相続財産を生まれ育った地域に寄付したい、など50万円以上の寄付で寄付者の意向に沿ったオリジナルのプログラムをつくることができます。

現在は、生活クラブ生協千葉「生活クラブ虹の街エコロ福祉基金」を運営しています。

Ⅳ. 資源仲介事業(事務什器、パソコン、プリンター等提供したい、空き店舗、空き家、遊休農地を活用してほしいなど、地域活動に役立ててほしい資源を仲介する)

これまでの実績は25件4,100点。オフィスを移転する企業からオフィス家具類、マッサージチェア、エレクトーン、お菓子等を提供いただき仲介しました。

■助成事業例

○「長作に『明日の種』をまく～障がい者と地域の人々をつなぐ畑再生プロジェクト～」(事業指定助成プログラム第1期 実施団体：企業組合あしたね)

障がい者就労支援施設に通う利用者の就労の場の一つとして、地元の耕作放棄地を活用して農作業を行っている。施設利用者の健康増進や心の安定が得られると同時に、生活保護受給や休職中の方などの生活再建や就労に向けての支援の場にもなっており、昨年うつ病で休職中の社会人3名を受け入れ、社会復帰につながっている。



○「たすけあいサポートアイアイの階段昇降サポート事業」(設立記念助成 実施団体：NPO法人たすけあいサポートアイアイ)



エレベーターのない5階建て中層集合住宅の多い千葉市美浜区を中心に、階段昇降機を使って体の不自由な方の外出支援を実施。助成金の一部を新しい階段昇降機購入に充てたほか、操作者の講習会を開催。安定して利用者のニーズに対応し、利用者やその家族との信頼関係の構築につながっている。

■地域社会を支える寄付をつくりだす 取り組み



公益法人制度改革や認定NPO法人制度の導入により、寄付税制が拡充され、国や都道府県が認定した公益法人等への寄付は、税制優遇（寄付金

控除・損金算入）の対象となり相続財産の寄付は相続税の課税対象外となります。私たちはこのような税制優遇を活用することで多くの市民が「寄付」を身近に感じ、社会参加の裾野を広げることも積極的に行っています。具体的には、一人ひとりが無理なく地域に貢献できる機会として、募金箱の設置、支援金自販機の設置、寄付つき商品の開発・販売、チャリティイベントの開催などを行っています。

中でも地域の飲食店と協働で開催する「カンパイヤリティキャンペーン」は、地元飲食業の売り上げ増加とイメージアップ、従業員やお客様の地域課題と対応する市民活動への理解が促進されるという画期的なイベントです。キャンペーン期間中お客様がチャリティメニューを注文すると、売り上げの一部がチャリティ（寄付）として、当財団が支援する千葉県内のNPOに届けられる仕

組みです。寄付金を活用した事業の成果を店内に掲示したり、ウェブサイトで積極的に公開することにより、多くの市民が「寄付」を身近に感じ、寄付したことで社会に役立てるという実感を持つことができます。

昨年実施した第1弾は県内の飲食店22店舗が参加、130,000円の寄付につながりました。今年9月1日～11月30日まで開催の第2弾は52店舗が参加しています。

■地域の困りごとは地域で解決

私たちは市民コミュニティ財団の強みを活かし、寄付をはじめとする多様な支援プログラムの創出と、意思ある寄付を適切に助成していくことで、地域の困りごとを地域全体で解決していくためのきっかけをつくる役割を果たしていきます。

現在は、テーマ型基金「困難を抱える子どもの今と未来を支える基金」へ100万円の寄付を募集しており、集まった寄付金をもとに生活困難家庭の子どもの学習支援活動やひとり親家庭、在住外国人家庭など孤立に陥りがちな子どもを支援する活動に助成します。ぜひ、みなさまのあたたかいご支援をお待ちしております。

■振込先

- 郵便振替：00140-7-570808
ちばのWA地域づくり基金寄付口座
(通信欄に「子どもを支える基金」と記載)
- クレジットカード (VISA/MASTER) :
ちばのWA地域づくり基金ホームページから
<http://chibanowafund.org>

■お問い合わせ

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
千葉市美浜区真砂5-21-12
TEL：043-270-4640
E-mail：info@chibanowafund.org